

# 開会中の

## 営業戦略農林水産委員会 (水柿一俊委員長)

### ICT活用養殖ビジネス実証施設と酪農経営の現状を調査 (5/17)

#### ICT活用養殖ビジネス実証施設 (ひたちなか市)

県では横浜冷凍(株)と連携し、ICTを活用した養殖のビジネス化実証事業に取り組んでおり、那珂湊漁港内の施設で令和4年11月からマサバの養殖を開始しました。

携帯アプリを使って遠隔で魚の様子を観察しながら、AI給餌機に最適な給餌量・間隔を学ばせる作業を行っており、将来的には人の手をほぼかけずに養殖できるようになります。

養殖事業の商業化に向けた取り組みについて説明を受けた後、実証施設の見学を行いました。



ICT活用養殖ビジネス実証施設を見学する委員

#### (有)PIONEER FARM (小美玉市)

(有)PIONEER FARMは、飼養頭数910頭の関東屈指のメガファームです。

飼養している牛の生産データを集め、分析することで乳量・乳質の向上に取り組むほか、省力化を図るためミルクパーラー<sup>※1</sup>や搾乳ロボット<sup>※2</sup>を導入しています。また、堆肥を利用した自給飼料の生産など、資源循環型経営にも取り組んでいます。

経営内容や飼料高騰の影響などについて説明を受けた後、搾乳ロボットなど施設見学を行いました。



経営内容について説明を受ける委員

## 土木企業立地推進委員会 (金子晃久委員長)

### 自動運転によるバス事業と道の駅常総を調査 (5/10)

#### (株)セネック (境町)

(株)セネックは、県の本社機能移転促進補助金を活用し境町に移転してきた、自動運転によるコミュニティバス事業やドローンによる物流事業の実用化を目指す企業です。

地方が少子高齢化や公共交通の維持などの課題に直面する中、自動運転バスの実用化に向けた実証実験を行うなど、新技術による社会的課題の解決に取り組んでいます。

同社の事業について説明を受けた後、自動運転バスの試乗を行いました。



自動運転バスを視察する委員

#### 道の駅常総 (常総市)

道の駅常総は、生産・加工・流通・販売が一体となった産業団地の形成によるまちづくりと地域活性化を目指すプロジェクト「アグリサイエンスバレー事業」の拠点施設として、地元農産物や加工品の販売、飲食をはじめ、多彩なコンテンツの提供を通じ、まちの魅力を発信しています。

圏央道常総ICに直結しており、市の新たな玄関口として期待されています。

道の駅常総の概要について説明を受けた後、施設内を視察しました。



施設の概要について説明を受ける委員

## 文教警察委員会 (長谷川重幸委員長)

### 学校におけるICTの効果的な活用と次世代を担うIT人材の育成を調査 (5/12)

#### 県立IT未来高等学校 (笠間市)

県立IT未来高等学校は、全国初のIT専科高校であり、IT技術を駆使した課題研究や体験活動などを通して、論理的思考・科学的な見方や考え方を体得した生徒の育成を目標に、さまざまな活動に取り組んでいます。

これらの取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



授業を見学する委員

#### 県立つくばサイエンス高等学校 (つくば市)

県立つくばサイエンス高等学校は、県内初の科学技術科を設置した学校であり、科学技術に関する教科などの横断的な学びや課題研究などを通して、次世代の科学技術と社会を担う研究者や高度技術者などを目標とする生徒の育成を目標に、さまざまな活動に取り組んでいます。

これらの取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



学校の取り組みについて説明を受ける委員

ことば ※1【ミルクパーラー】…同時に多くの牛から搾乳することが可能な搾乳専用施設のこと。  
※2【搾乳ロボット】…搾乳を自動で行うロボットのこと。